

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

ステージ・アップ

up

'92年

3

月号【隔月発行】**無料**

● 高橋清・川崎市長の随筆

連載開始



二子橋の橋脚



いまを話す

川崎市名誉市民の圓鏝勝三氏
「芸術は夢・幻・現実の合作」

New Jazz を
Create する

澄淳子 &

松井洋クインテット



3月21日(土) 18時
新百合21ホール

小田急線
新百合ヶ丘駅下車
徒歩2分

- 男が女を愛する時
- 明日に架ける橋
- カサブランカ
- お熱いのが好き
- 慕情
- ピノキオ
- ワカズマンボ

●入場無料 ●申し込み 044-952-5000

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団

もくじ

連載—いまを話す—圓鏝勝三さん(彫刻家)

芸術は夢・幻・現実の合作

5

■随想・季節感にふれる生活

高橋清・川崎市長

4

学習・文化情報

13

●特集 公開討論会「尊厳死を考える」

8

本誌配布場所117カ所・編集後記

15

●随想カット——田村あや

●表紙絵——田島志織



当事業団は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩1分です

多目的ホール 研修室 会議室のご利用は

☎044-952-5000へお願いします

当事業団は 12月29日～翌年1月3日を除き 無休で開館しています 多目的ホール(504席) 研修室(24～30席) 会議室(20席)のご予約・お申し込みは 午前9時から午後5時まで(土曜日の午後と日曜日を除く)です

●随想● 高橋清 — 川崎市長

思いつてまま ①



日脚の長さを感じさせる夕暮れ時、思わず白梅の香りに足を止めた。

暖冬とはいえ、春がそこまで来ていることをあらためて感じた。やがて、沈丁花などの花々の香りが次々と漂い来るであろう。

こうした季節感にふれる機会も、今は少なくなってしまうようだ。いつの頃からか日本の都会からは、季節感といわれるものが見えなくなってしまう。

かつては、川崎のそここでも、すみれやレンゲの咲く小川の岸辺に、メダカの泳ぐせせらぎに、水ぬるむ春の喜びを見つけることができた。水と土の温もりに思わず心を踊らせた抒情的な世界があった。

しかし、小学唱歌に歌われた四季折々の遊びも、子供達が胸ときめかせ待ちわびた季節の生活行事も、今は数少なくなってしまう。

日本の四季の移ろいは、多くの文人たちが好んで取り上げた素材であり、この季節感が日本文化や日本人

の性格を創り上げてきたといってもよい。

食文化においても、昔から季節感を大切にしてきた民族であり、とりわけ、旬を大切にしてきたのは何よりも日本人であったと思う。

かつては、季節の訪れを感じる頃になると、町の店先には旬のものが始め、その新鮮な味わいは何ともいえない喜びであった。野菜も果物もまさに季節と共にあった。

季節感にふれる暮らし

しかし、栽培方法や保存技術の改善により、今は季節に関係なくあらゆる野菜や果物が一年中食卓を彩り、それらが春や夏のものであることを知らない人達も増えていると聞く。

野菜や果物だけではない。養殖魚の普及など、生活のいろいろな場面から季節感が失われ、今は皮肉にもテレビのコマーシャルなどによって季節感を味わうことさえある。

路地もの野菜の多くは、今では季節のサイクル性をほとんど失ない、若い人達にはチョコレートなどが新たに時期を知らせる商品になってきたようだ。

ふと戸惑いを感じることもさへある人工的なモノに溢れた現代社会。確かに便利な生活であるかもしれない。しかし、豊かさとはこうした自然の恵みやサイクルまで奪ってしまったていいのだろうか。味気なさを通り越し何ともいえない寂しささえ感じられる。

都市化されたとはいえ、私たちの暮らしの中には、四季のリズムにふれ、草木の成長に喜びやうるおいを感じることもできるものが、まだ残されているはずだ。

自然は絶えずバランスを保ちながら変化しているが、自然界の貴重な資源を守り育てながら、そこに生活する人々の営みとの均衡、共存を図っていくことが何よりも大切な時である。

地球環境の保全につながる「やさしい暮らし方・エコライフ」が叫ばれている今、季節の移ろいや季節感に感動する。

私たちの世代のように旬のものとの出会いに無上の喜びを感じることも、地球環境から地域の身近な自然

までを考えることに繋がるささやかな一歩になるのではないだろうか。生活の視点をちよつと変え、身の回りをいろいろ見渡してみれば、そうした素材はまだまだある。そうした小さな発見から、日々の暮らしの中に真の心の豊かさを求める地域学習や環境学習への発展が見い出せそうな気がする。



(絵・田村あや)



川崎市名誉市民
文化勲章受章者

えん つば
圓鏝勝三さん

いまを話す

Vol. 4

インタビューア— 清水幹子さん 二科会 彫塑部



彫刻界の大御所、圓鏝勝三さんは文化勲章受章者であり、民間人として初の川崎市名誉市民である。同市中原区のお宅にお邪魔して、インタビューした日も制作中だったが、初対面にもかかわらず笑顔で迎え「圓鏝芸術」について謙虚に話した。「小学生の感想は純粋な批評」と語る真摯な態度は、崇高な芸術が庶民的感性に裏打ちされ創造されることを証明している。インタビューは同市麻生区在住で昨年、「川崎市美術展」彫刻部門で特選受賞の主婦、清水幹子さん。

小学生「先生の頭の中、見てみたい」

広い題材の制作に驚き

圓鏝先生は昨年、民間人として初の川崎市名誉市民になられ改めてお祝い申し上げます。私、彫刻家の一人として本当に感激致しました。

圓鏝さん ありがとうございます。川崎には百十八万人も市民がいるのに、予想もしなかった名誉市民章を頂き恐縮しています（笑顔で）。

— 昨年の六、七月に先生の文化勲章受賞を記念し、川崎市市民ミュージアムで開いた「圓鏝勝三彫刻展」を鑑賞させて頂き「紫式部像」が女の子に、「仁王像」が男の子にとっても人気があったのを知りました。

圓鏝さん その話は初めて聞きましたが、その感想を大勢の小学生がくれました。子供は純粋でへたな評論

家の批評より僕の長所、特徴をよく見ていると感心させられましたよ。

— どんな内容でしたか。

圓鏝さん 作品「朝」は子供の群像が躍動しラップを吹き、そばでニワトリが鳴いています。子供達の感想は「私は朝、友達と待ち合わせするのにこうした」と書き、自分の体験と僕の作品を重ね合わせ、夢を広げるのです。また「圓鏝先生の頭の中をのぞいてみたい」というのもありました（にこやかに）。

— 頭の中を……ですか？

圓鏝さん 僕の作品は仏様あり、動物ありといういろいろで「同じ人間がああも異なった作品を作れるのか」と疑問を抱き「頭の中をのぞいてみ

たい」と、なったのですね。

— 子供の指摘は鋭いですね。先生の作品には、身近なモチーフの少女や小動物がある一方、広島に建立の「平和記念像」、川崎区・稲毛公園の「平和の塔」など命と心の貴さを伝える作品があります。幅広いジャンルの作品を数多く制作された動機、心構えをお聞かせ下さい。

圓鏝さん 自分でもどうして、こうなったか分からないのですよ。ただ、僕は彫刻も絵画も書も流れは同じで彫刻が難しく、絵画はやさしいなどと思いません。全ての美術から学び、生かせるよう心掛けています。また仏像彫刻が上で、動物を彫るのは下だということもないのです。

— 先生は素材に木やセメント、トタン、針金など、多くのものを使っていますか。

圓鏝さん それは、これを制作するには、なにで表現したらいいかを考え、「これを利用したら面白いのでは」と、実際にやってみるからです。— 先生はよく夢をご覧になるそうですね。夢は作家の心象風景のドラマで、それを発酵させて制作されるのでしょうか。

圓鏝さん 僕のことを「夢を楽しむ男」と言う友人もいるくらいです。芸術は、夢と幻と現実が一緒になったものだと思っています。例えば万



夢・幻・現実の合作が芸術

里の長城の夢を見ます。起床した時は良くは覚えていません。夢と現実に見たことを基に、制作上の夢を作り上げ、「僕の万里の長城はこれだ」と決めます（力強く）。

——自分だけの世界を作ることが作家の魂と言うわけですね。

圓鐔さん 僕が弟子に必ず言うのは「同門、同系統の先生に付くな」です。先生に学ぶのは当然ですが、最後は自分で道を見い出さなければ

駄目です。自分を出してきた作家の作品を見るのは楽しみです。

——先生の作品には愛・希望・命の尊厳が一貫して流れていると感じるのですが……。

圓鐔さん それは、生まれた時から今日までの環境が影響しているのでしょう。僕は、自然の中の村で生まれ、母が家事を取り仕切り、父はよく働き、村全体が温かく見守ってくれました。生活は貧しかったが豊

かな生活体験を積み重ねました。——ところで、いつ頃から彫刻を始めたのでしょうか。

圓鐔さん 小学四年の夏休みに、兄が木の茎に「圓鐔」の印を彫っていたのです。僕は「面白いことやってるな」と思いマネして「圓鐔」と彫ったのです。その印を夏休みの日記に押し、担任の川井先生に提出したところ、先生が朱色で「大変よく彫れました」と書いてくれました。それが今日につながったのは間違いありません（うなずきながら）。今でも先生に褒（ほ）められたのを覚えているのは、得意な学科が少なく、先生から褒められたことが少なかったからでしょう。

——圓鐔という字は画数が多く、大人でも印刻が難しいですね。

圓鐔さん その後の運動会の前日、授業が終わると校長先生に呼ばれ、「桜の花を入れて『河内尋常高等小学校第〇回体育記念』のハンコを彫ってくれ」と頼まれました……。

——それは翌日までに仕上げなければいけないわけですね。

圓鐔さん そうなんです。運動会の記念品のノート表紙に、そのハンコを押し児童・生徒全員に渡すためです。突然、依頼され驚きましたが「放課後、教室の掃除をするより楽しい」と、裏山に走って行き「カシ

圓鐔 勝三さん

えんつば・かつそう=本名・勝二。明治38年11月、広島県河内村（現御調町）生れ。河内尋常小高等科卒。16歳で彫刻家を志し京都。上京し昭和5年（25歳）帝展で初入選。その後、日本美術学校卒。木彫家の澤田政廣に師事。日展特選4回、文部大臣賞、日本芸術院賞など受賞。昭和63年、文化勲章受章。平成3年、川崎市名誉市民。自宅は川崎市中原区小杉。家族は妻ミキさん、長男元規さんら。

オシキ」という堅い木を切り、一晩で作りました。軟らかい木の方が彫りやすいのですが、年月が経つと木の水分が抜け、文字がグシヤグシヤになるので（笑顔を絶やさずに）。

——子供心に、校長先生から大仕事を与えられたと考えたのでしょうか。

圓鐔さん それ以後も牛骨の歯ブラシの柄などにハンコを彫り続け、僕の印刻は学校で信頼されました。また鋼鉄のコウモリ傘の骨を叩き、細く鋭い刀にし、海軍ナイフを研ぎ鍛冶屋みたいな事をしたのです。

——いい感性で彫刻刀を作ったのですね。彫刻家を志したのはいつ頃でしょうか。

圓鐔さん 小学高学年になると、村民は「ハンコ屋に奉公に行き、い

小学校長も一目置く印刻

修業4年で兄弟子抜く

「いハンコ屋になる」と、うわさをしていた。僕は十六歳の高等科三年の卒業を前に「立体彫刻をやってみたい」との意思が強まりましたが、親になかなか言い出せない……。

——今、多くの広場にモニユメントがありますが、彫刻家志望を言えない状況があったのでしょうか。

圓鏢さん ええ。芸術家を志す人はほんのひと握りで、道楽者と思われていました。しかし、父親は僕の気持ちに気付き許してくれました。——お父様の理解が、人生の節目になったようですね。



紫式部像



仁王像(阿尊)

圓鏢さん その通りですよ。彫刻家になるには、師匠の元で修行が必須です。父が村長や校長に師匠の紹介を頼んで歩きました。やがて京都で神社仏閣の彫刻を手掛けている石割秀光師の弟子になりますが、その決め手はハンコです。

——どういうことでしょうか。

圓鏢さん 石割師に「君の彫った判を押して返事をくれ」と言われ以前、彫った兄の佳一の判を押して出しました。画数が「圓鏢」は多いが「佳一」は少く、バランスが取れないので、「一」を「市」の象形文字に

しました。それを石割師が見て弟子入りを許したのです。

——十六歳で修行され、ご苦労も多かったことでしょうか。

圓鏢さん 衣食住の心配をせずに、好きな彫刻の勉強ができて恵まれた境遇でした。京都では、彫刻刀の種類が多さや神社仏閣の建築・仏像彫刻の美しさに目を奪われ、驚嘆の連続でした（少年のような表情で）。

——修業はいかがでしたか。

圓鏢さん 最初、欄間の花を彫る仕事を与えられ、兄弟子はさっさと作りますが、僕は何日経っても出来ず自信がぐらつきました。母親の、

「どんな仕事も手抜きをするな」の注意を思い出し、故郷の土も踏まず仕事に没頭。それでも一年目は上達せず、三年後やっと師匠に認められ、四年後、兄弟子を抜き月に百円頂き校長と同じ給料になりました。

——二十三歳で上京されますが。

圓鏢さん 京都に二、三年いると「近代彫刻をやるなら東京に出なければ」と美術界の様子が分かり、機会を見て石割師にお話したのです。

上野の美術館で、彫刻や絵画の秀作を鑑賞する度に感動しました。困ったのは下宿先で彫刻をやる時音、木屑が出ます。それで数年間に十回も下宿を変えました。帝展で初入選の時、下宿人全員が喜んでくれました。

清水 幹子さん

しみず・みきこ＝昭和14年、秋田県能代市生まれ。同37年、武蔵野美術大彫刻科4年中退。同54年、横浜美術協会展で奨励賞受賞。同55年、横浜美術協会会員に推挙される。同58年、都美術館で開催の自由美術協会展で入選。60年から二科会彫塑部に所属。平成3年、川崎市美術展で特選。自宅は川崎市麻生区白山4の5の2。家族は団体役員の子、会社員の子二男、母。長男は独立。

——これまでお話を聴き、いつまでも発想が若々しく、チャレンジ精神が旺盛なのが分かった気がします。今後のわが国の美術界についての見通しはいかがですか。

圓鏢さん 美術家に求められるのは創造性です。平和で自由な豊かな社会が続くなら、若い人のいい作品が沢山、世に出ると確信します。

——貴重な時間、ありがとうございます。先生のご活躍と健康を心からお祈りします。

圓鏢さん あなたが良く勉強されているので楽しい時間でした。これからの活躍に期待しています。

（協力 川崎市市民ミュージアム
構成・文責 田中園）

尊厳死を 考える 公開討論会

《パネラー》

松根敦子さん(日本尊厳死協会理事)

井上武夫さん(医師)

根本孔衛さん(弁護士)

小林久三さん(作家)

司会：堤 一樹さん(歯科医)

市民企画講座「心のセミナー」の公開討論会「尊厳死を考える」を紹介する。「心の問題と死の問題は一見、分野を異にするテーマだが、素晴らしい人生を生涯にわたり全うできるかは、心やすらかに臨終を迎えられるかにあるのも事実で、尊厳死を心の問題と考え開いた」(市民企画講座スタッフの開会あいさつから)。パネラーの日本尊厳死協会理事、松根敦子さん▽医師、井上武夫さん▽弁護士、根本孔衛さん▽作家、小林久三さん(発言順)が問題を提起。会場の市民も討論に加わり、尊厳死について理解を深めた。司会は歯科医師で同講座スタッフ、堤一樹さん。

最初に尊厳死とは何かを中心に松根さんにお話しを願います。

松根さん 尊厳死とは、自らの自発的意思による安楽死を意味します。

自発的意思による安楽死の中にも薬などを使い、作為によって死に至らしめる『積極的安楽死』と、苦痛は取り除くが無意味な延命は拒否する『消極的安楽死』があります。日本尊厳死協会は消極的安楽死しか尊厳死と認めていません。

また、尊厳死運動は人間の「苦しまずに死にたい」という素朴な願望や尊厳を保ったまま死を迎える権利についての理解を広げる運動です。自分の安らかに死ぬ権利を得るためには、生きているうちの遺言である



▲堤さん

〈尊厳死の宣言書(リビング・ウィル)の内容〉

- ① 死期が近いと診断された時、一切の延命措置を断わる
- ② 苦痛を和らげる処置は最大限実施して
- ③ 数カ月間、植物状態の時は一切の生命維持措置を取り止める

尊厳死の宣言書「リビング・ウィル」に記しておく必要があります。

リビング・ウィルの内容は①傷病が医学で治せず死期が迫った時、死期を引き延ばす措置一切を断る②苦



▲松根さん

痛を和らげる医療は最大限お願いする③数カ月以上、意識回復の望みがない植物人間になった時、一切の生命維持装置をやめる——です。

この三点の責任は、すべて本人が負う事とし署名捺印の上、当協会に送付して頂くと、協会はこれを保管。そのコピー二通を本人と近親者に送ります。必要が生じたとき医師にこれを提示し、理解を求めます。

(同協会は ☎ 03-3818-6563)

——次に医療の現場で終末期の患者さんと接して来られた井上先生に体験を交えお話しします。

井上さん 人間はいつか死を迎えるのだから、終末期医療など必要はなはず。それが最近、クローズ

市民企画講座

問題を提起する松根、井上、根本、小林の各氏(左から)と堤さん。



医師は延命至上主義改めよ

終末の激痛取る医療を

井上さん

アップしたのはなぜでしょう。

まず、病気の質が変わりました。

昔は結核の死亡者が多くばい菌を殺せばよかった。心は病んでも「耐えられない激痛」はありませんでした。ところが今は、年間八十万人が死亡し、そのうち二十万人が、がんで死んでいます。現在は四人に一人ががんで死にますが、十年後は三人に一人の割合になるでしょう。

がんになると非常に痛く、死への恐怖が増すので心も強く病むのです。医学がそれに必ずしも対応できていないのが現状です。医学の中心課題は学問と技術ですが、終末の患者の痛みや心の問題について医師が忘れ

がちになっています。

また糖尿病や高血圧も医師が治せません。患者が病気を知り、食事療法や生活習慣を変えなければ駄目で、最近「説明と同意の医療」を医師会も強調しています。

患者の痛みを取ると同時に心のケアを考える「死の臨床研究会」が発足したのが昭和五十二年。これが契機になり胃、頭、胸などの部分的医療から、心も診る全人的医療に転換しつつあります。私は医者と患者が対等に接し「カルテは医者のものでなく、病气も死も自分(患者)のもの」との認識が大切だと思います。

安楽死容認に3条件

社会的合意で法整備を

根本さん

大変分かりやすいお話でした。お医者さんも最期を見取ることが上手でなければ、と感じました。こう

した状況の中で、法律は尊厳死をどのように考えているのか。根本弁護士にお願いします。

私自身が、同臨床研究会を知ったのは五十五年頃でした。見学して驚いたのは、患者が痛み出す前にモルヒネ(麻薬)を飲ませていました。

それまで私は、治る見込みのない患者の回診が嫌で逃げ回りたい気分でした。同研究会から帰り、直ぐこれを実施しました。それで、がんで亡くなった患者の八割が痛みを訴えず永眠するようになりました。

ところで、仕事は順調、温かい家庭に恵まれた人が最期の数カ月、悲惨な闘病生活を送るなら、幸せな生涯と言えるでしょうか。医者はこのことを肝に銘じるべきです。わが国にホスピス(臨終が近付いた病人に延命治療をしないで、心理的援助で豊かな最期の生を目標にした入院施設)が極めて少ないのは残念です。ホスピスが多くなれば、もっと安らかな死が得られると思うのです。

市民企画講座



▲根本さん

根本さん 森鷗外の小説「高瀬舟」は、遠島・島流しされる罪人が舟の上で涙を流しますが、一人の青年だけが晴れ晴れとした顔をしていたので、役人が不思議に思いその青年に聞きました。

青年は両親と死別し、弟と二人暮らしでしたが、弟が重病になり「兄に負担を掛けられない」と自殺を囁きます。死に切れず苦しんでいるところに兄が帰り、弟が「苦しい。殺してくれ」と訴えます。兄が躊躇（ちゆうちよ）している間に弟は死にました。鷗外はその場面を微妙に記していますが、役人は自殺を助けたと罪にしましたのです。

今でも頼まれて殺したり、本人の承諾を得て殺しても刑法の嘱託殺人罪や同帮（ほう）助罪になります。ですから、安楽死が「生きている人の死を早める行為」なら刑法が適用されます。また自殺未遂に終わった場合は処罰されませんが、法律は自

殺にも否定的です。心中して生き残った片方が処罰される事は現在ではありませんが、江戸時代は身分を落とす罰を受けました。法律の評価・解釈も時代の流れで変化します。

さて、安楽死・尊厳死の問題も人間の意識の変化によって法律解釈は変わると思います。

医師は本来、患者の生命を守ることで使命ですので、少しでも命を助けられるチャンスがあれば、延命医療を考えるでしょう。法律家は安楽死に比較的寛容ですが条件はあります。①死が確実に迫っている②生き続けることが死の苦しみより勝る③

本人の希望に基づく——。これが安楽死を認める法律家の考えです。

次に安楽死の方法は、亡くなる人の苦痛が極めて少なく、社会的に見て妥当でなければなりません。

病気の父が日夜苦しみ、「殺してくれ」と頼まれた息子が、農薬を飲ませ死亡させた事件の判決は有罪でした。判決理由は、安楽死は医者が行うべき▽農薬を飲ませたのは、社会的妥当性を欠く——です。重要なのは判決で「安楽死はあり得る」と認められた点です。

法律家は、一つの利益を得るために一つの害があっても仕方がない、

尊厳死問 題の裏に 医学への不信

変わる患者心理の考慮を

小林さん



▲小林さん

——根本さんのお話を聞き、尊厳死を個人の責任・判断で考えることは酷で、法的整備が大きな課題だと痛感しました。小林先生にご発言をお願いしますが、先生は数年前、大病を患い生死の淵にいました。その体験を中心にお話をどうぞ。

小林さん 私は二回、深刻に尊厳死を考えた経験があります。十二年

との緊急避難的解釈もします。しかし条件、方法が満たされていても安楽死・尊厳死を全面的に支持しているわけではありません。

また植物人間になった患者の延命装置を外すことが積極的安楽死か、消極的安楽死に当たるのか▽人間の生命の価値をどう位置付けるのか▽ナチスの「あれは殺されて当然な民族だ」と安楽死の名による大量虐殺を教訓に、差別とどう戦うか▽遺産相続などで悪用される危険をどう防ぐか——など、社会的合意による法の整備の課題が残されています。

前に胃がんで七十八歳の母を失った時、母は茨城県の病院に入院していて私は王禪寺（川崎市麻生区）の自宅から毎日のように通いました。担当医は「高齢で手術は無理。四、五カ月の寿命」と診断しました。

制がん剤が劇薬のため、母がしばしば吐き、見るに見兼ねる状況でした。私の脳裏に安楽死がよぎり「凄惨な死になる。なんとかして」と院長に訴えましたが、「（安楽死に）手を貸すような行為は出来ない」と拒絶されました。

「私の近くの聖マリアンナ病院に移したい」には「移送は体力的に無理」と断られ、母は四ヵ月後に、だ

市民企画講座

れにも見取られず死亡しました。病院は、医学の敗北のように母の遺体を裏口から出すのです。私は「違うのではないか。玄関から送り出してほしい」と痛切に思いました。

医師は、患者を一日でも長く生きさせる事が使命と考えているが、あの母の姿を見て、それが正しいのか深刻に考えました。

私自身は四年前、脳梗塞(こうそく)で倒れました。意識を失い数日後、病院のベッドの上におり、話すことも起き上がることも出来ず、食事も思うようにとれません。次第にいら立ち「こんな状態で生きていくのはたまらない」と思いました。

母親の時の経験で「医者が尊厳死を認めるはずがない。自殺しかない」と考えましたが、体が不自由でそれとできないのです。体が駄目だと心も弱り「尊厳死協会に入ってなかったのは大失敗だ」と思いました。

月日が経ちベッドの上で起き上がり、車椅子にも乗れ、やがてリハビリが始まるまでに回復しました。その頃、歌手の郷ひろみと女優の二谷友里恵の結婚披露宴の招待状が届きました。三カ月先でしたが「それまでに治そう」と「出席」にマルを付けました。

リハビリをして、立てるようにになると、尊厳死とか自殺を真剣に考え

ていた事は忘れ「連載小説を口述筆記でなく、自分の手で書きたい」との気持ちになりました。人間の心はその時々状況で変化します。

延命は、医学の進歩でさらに伸びるでしょう。しかし大事なものは、死から生還した人を社会復帰させるり

市民の発言

○宣言書は家族の同意が不可欠 ○「家族のため協会加入」は疑問 ○死への考えは多様なのが当然

小林さんのお話は、示唆に富んだもので、会場のみなさんを交えての討論にも有意義です。

女性A モルヒネを使い痛みを無くすお話がありました。どの医師も同じ方法で使っているのでしょうか。習慣性で量が増える心配はありませんか。

井上さん まだ、医師の多くはモルヒネの使い方を知りません。モルヒネの禁断症状の恐ろしさを教育され医師になったのですから。国家試験に安楽死・尊厳死の問題が出るといいのですが。早い時期に死ぬ事が確実な患者が苦しんでいても使わない現状があり、医療モルヒネの使用量は(先進国で)日本が一番少ないのです。終末期に使うので習慣性

ハビリの態勢・整備を病院・社会がきちっとする事です。

尊厳死問題の背景には、現代医学に対する不信、痛みを伴う死への恐怖があります。尊厳死を医療不備の問題として考え、国民が発言していく事が重要です。

は問題になりません。

女性B かつて二十年間、臨床上に居ましたが、肉親が臨終に立ち会った時はいいのですが、嫁しか居なかつた時、遺族は満足しません。尊厳死宣言書の意味は分かりますが、その人の命は家族にも大事な命。最後にどう援助できるかで悩みました。

松根さん 死は自分のものだと思います。尊厳死宣言書のコピーを親族が持つのは、家族や周囲に「自分の最期は自分で決める」ことをよく理解してもらい、疎遠な親族が臨終に間に合わず、最も近い親族が非難されないようにするためです。

女性C 「尊厳死は人間として美しく死にたい」との発言は、楽しんで死ぬことが人間らしい死に方のよ

うで疑問を感じます。苦しんで死ぬのも人間らしいのでは……

小林さん 母の凄惨な死を振り返る時、安楽死させていたら悔いが残ったかもしれない。尊厳死は、本人の意思が強く家族もそれを尊重するものでなければなりません。人間は勝手なもので、美しくは死ねないと思いますね。

松根さん 臨終の痛みは、患者だけでなく家族が耐えられない酷さです。「リビング・ウィル」は周囲への思いやりでもあるのです。

女性C 周囲に負担を掛けるから尊厳死協会に入ると言うのは、自分の死と対面しない事になり納得できません。死に直面している人が酷い痛みを苦しむのに、周囲の人のために同協会に入るとするのは、鬱(うつ)病の人を見て、回りの人が同情するのと変わらないのでは……

女性D 死については、多様な考えがあり、尊厳死協会に入る、入らないかは選択肢の一つであって「入会しない人は、意識が遅れている」にならないことを確認したい。

松根さん 入会があくまでも各人の自由の意思に基づくものです。

尊厳死問題をこの場で終わらせることなく今後、若い人を含め十分議論すべきだと思います。有意義な討論、ありがとうございました。

日本女子大の
増淵宗一教授

ちびまる子ちゃん現象とこども像

ワンパクな女の子がなぜもてる!!

— 問い直される家庭、人間関係 —

増淵 宗一
日女大教授

当事業団主催の講演会「ちびまる子ちゃん現象と子供像」現代の子供とストレス」がこのほど、新百合大学ウェンティワンホールに約百人の市民を集め開いた。講師は日本女子大人間社会学部教授で「ちびまる子ちゃん大研究」の著者、増淵宗一さん。同教授は「小学三年のちびまる子ちゃん」は、勉強は出来ないが、地域社会の「知」識が豊富。「情報」に敏感で情報メディアにも強い。自分の「意」思を明確にし倫理にシヤープな子。世代を越え愛読されているのは「人間として最も大切な「知・情・意」が豊かだからだ」と述べ、管理社会の中で大人に欠如している人間本来の生き方が広く共感を得ていると分析した。

増淵教授は「私は『○○ちゃん専科』(漫画)を二十年間研究し、大学では異端児扱いされている」と会場を和ませた。

しかし現在、漫画雑誌は「少年ジャンプ」が毎号五百万部、レディース向けコミック雑誌が計千万部購読され、東京都民千万人の全員が毎号

漫画を読んでいる計算で「漫画は社会を映す鏡」として無視できない状況だ。

これまでに「サザエさん」などの人気漫画はあったが、幼児からお年寄りまで幅広い層に長年、読まれたケースは「ちびまる子ちゃん」だけだ。同教授はこれを「クロスオーバー現象」と位置付けた。

ハイテクメディアが家庭に浸透し、クロスオーバー現象はあらゆる分野で見られるようになった。

ファミコンゲームを昼間は子供が、夜は大人が楽しむ。カラオケでは昼は主婦が、午後から高校生が、夜は大学生や会社員が歌う。デイズニールランドも従来の子供の遊ぶ場所の概念を変え、あらゆる世代のレジャー施設である。

まる子ちゃんはわが国初のクロスオーバー現象漫画なのだ。

同教授は、まる子ちゃんのスライド八十枚を映写して「まる子ちゃん現象」の「秘密」を話した。

まる子ちゃんは大人っぽい女の子で勉強は好きでない。だが情報収集能力は抜群、自分の主張もはっきり言い喜怒哀楽が激しい。

今の父親は会社以外のことに疎い情報音痴の半面、会社のためなら倫理を考えず働く。「知・情・意」では、まる子ちゃんの方が素直で優れている。

人間らしさの点で「大人と子供」の区別が付けにくいのが現代の特徴だ」と同教授はいう。

まる子ちゃんの弱点はベチャパイで五頭身、容姿端麗でない。本人もそれを自覚「可愛いお嬢さん」と持ち上げられると照れる。お小遣いを直ぐ使う経済観念のなさ。部屋の整理整頓も苦手だ。今の中高年の男女が、若者のすらっとした姿をうらやみ、自分が自由に使えるお金が欲しいとの気持ちと共通点がある。

ちびまる子ちゃんの家族は、友達のように気軽に話せる父、料理が上手で優しい母、普段は存在感が薄い困った時に頼りになる祖父母、平均的な姉がいる。また個性豊かな大勢の友達もおり、まる子ちゃんが伸びびと育つ環境がある。

同教授は「子供は家庭・学校・社会の中で育つ。しかし、現実には家族化、転勤族、会社中心の父親、塾漬け子供の家庭が多い。最近、離婚した子供連れの男女同士が再婚した混合家族も見られる」と現在の複雑な家庭状況を指摘した。

さらに同教授は「漫画の主人公に小学高学年生や中学生が登場しないのは、複雑な社会と無関係でない。ちびまる子ちゃん現象は、人間関係が問い直されている側面がある」と締め括った。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「英語による国際理解講座」EC

諸国編 ◆「中原市民館」1年を3期に分けて開催。今期はスペイン、ポルトガル、フランスを取り上げる。

4月11日～7月18日の毎週土曜日10～12時。定員40人。受講料1万4千円。受講者は中級の英語力が必要。申込みは3月20日までに☎044-

245-9881の川崎市国際交流協会(主催)。希望者多数の時は抽選。会場は武蔵小杉駅より徒歩5分。

「英語による国際理解講座」南米編 ◆「川崎市新都心情報センター」

4月11日～7月25日の毎週土曜日10～12時。講師はブラジル、アルゼンチン、ペルー人。定員40人。受講料1万6千円。受講者は中級の英語力が必要。申込みは3月20日までに☎

044-2445-9881の川崎市国際交流協会(主催)。希望者多数の時は抽選。会場は新百合ヶ丘駅より徒歩2分。

「サロン・ド・稲毛 ◆稲毛神社参集殿」▽3月18日(水) 18時～20時

半、「戦火のユーゴスラビア」をテーマに英語・料理講師の今時ミルカさんが講演▽4月17日(金) 18時～20時半、「沖繩の芸能」について川崎沖繩芸能研究会会長・前田久進さんが講演。いずれも懇親会費を含め参加費4千円。詳しくは☎044-222-4554の同神社。同神社は川崎駅より徒歩10分。

「行政書士資格試験準備セミナー」◆「中原市民館、総合自治会館」5月9日～9月6日の毎週土曜日13時半～16時半。但し5月31日、8月30日、9月6日は日曜日。定員30人。受講料3万円。教材費1万5千円。申込みは3月25日までに☎044-952-5000の川崎市生涯学習振興事業団(主催)。希望者多数の時は抽選。中原市民館は武蔵小杉駅より徒歩5分。総合自治会館は武蔵小杉駅より徒歩15分。

「宅建取引資格試験準備セミナー」◆「川崎市生涯学習振興事業団」5月9日～10月10日の毎週土曜日13時半～16時半。定員50人。受講料3万3千円。教材費5千円。申込みは3月25日までに☎044-952-5000の同事業団(主催)。希望者多数の時は抽選。同事業団は新百合ヶ丘

駅より徒歩2分。

魅力あるイベントがある

学習・文化情報

駅より徒歩2分。

「きのうと違う自分づくり」ストレス解消 ◆「県立川崎北労働センター」▽3月3日は「自分をコントロールする」▽3月5日は「自分の考え方を変える」▽3月10日は「自分の行動を変える」。いずれも18時15分～20時15分。講師は日本心理カウンセリングセンター所長・関輝夫さん。受講料無料。定員先着30人。申込みは☎044-722-0171の同センター(武蔵小杉駅より徒歩10分)。

「身近な言葉を考える」◆「ヨネツテイ」王禅寺」現代の日本語の状況に焦点を当てる。4月18日～6月13日の毎週土曜日14～16時。全8回。講師は大妻女子大教授・大木正義さん他。対象は15歳以上。定員60人。受講料3千円。申込みは4月4日14時に直接来館。同館は☎044-951-3636で、小田急百合ヶ丘駅か新百合ヶ丘駅よりバスで王禅寺公園か餅坂下車、徒歩15分。他に中国語入門、フランス刺繍、俳句入門、楽しい木彫、スポーツ講座有り。

「天文講座」人工衛星から見た宇宙 ◆「青少年科学館」X線天文衛星やハレー慧星探査機の成果など。3月20日(金) 16～18時。講師は宇宙

科学研究所技官・前田行雄さん。対象は小学5～成人。定員百人。参加無料。申込みは☎044-922-4731の同館。同館は向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

「こども自然教室」早春の花 ◆「生田緑地、青少年科学館」生田緑地の早春の花を調べる。3月29日(日) 10～15時。小雨決行。対象は小学4～成人。定員20人。詳しくは☎044-922-4731の同館。同館は向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

「ゴミのリサイクル問題における住民のかかり方」◆「高津図書館」住民の一人一人が参加出来る、住み良い街づくりの方法を考える。3月14日(土) 14～16時。講師は元沼津市長・井手敏彦さん。定員40人。申込みは3月1日より電話(☎044-822-2413)または直接来館。同館は高津駅より徒歩5分。

催し

「ウォークラリー」川崎中原七福神めぐり」子どもからお年寄りま

学習・文化情報

出かけてみよう 見てみよう

で、体力に合わせて楽しみながら歩く。3月29日(日)10時15分。雨天決行。参加無料。詳しくは☎044-722-7171の中原市民館。

同館は武蔵小杉駅より徒歩5分。

「中原こども劇場」おいでよグリムの世界へ◆「中原市民館」3月28日(土)11時12分と13時14分の2回人形劇団ブークの公演。かわいいた形たちが踊り歌い、楽しく演じるグリム童話「狼と七匹のこやぎ」「スカーフのファンタジー」。定員各420人。入場は無料だが、整理券がいる。整理券の配布は3月19日14時から同館で(☎044-722-7171・武蔵小杉駅より徒歩5分)。

「生涯学習基本計画に向けての区民集会」現在策定中の計画に市民の声を反映させるのが目的。参加無料。▽3月3日(火)10時12分、麻生市民館。申込みは☎044-951-1300の同館。▽3月5日(木)11時12分、幸市民館。申込みは☎044-541-3910の同館。▽3月14日(土)13時16分、中小企業・婦人会館。申込みは3月12日までに☎044-722-7171の中原市民館。▽3月21日(土)14時半から、多摩市民館。申込みは☎044-900-3020の同館。

「ファミリアフェスティバル」県立高津青少年会館「人形劇の上演と

手あそびなど。3月29日(日)14時開演。定員は親子百人。申込みは☎044-844-2101の同館。同館は溝ノ口駅より徒歩5分。

「茶道(煎茶)入門、混声合唱教室、発声教室」県立高津青少年会館

▽茶道(煎茶)入門は4月7日21日の毎週火曜日。全3回。定員10人。▽混声合唱教室は4月2日8月27日の毎週木曜日。全22回。定員15人。▽発声教室は4月3日8月28日の毎週金曜日。全22回。定員15人。いずれも18時半20時半。対象は18歳30歳の青年男女。申込みは☎044-844-2101の同館。同館は溝ノ口駅より徒歩5分。

「開設5周年記念行事」宮前老人福祉センター▽5周年記念祭。3月11日は受講者発表会、12日は各種演芸会ほか。いずれも10時15分。その他多数企画あり▽受講者作品展では水墨画、俳句など9講座の作品を展示。3月9日14日9時16時▽お茶会は3月10日10時から。▽文化講演会は3月21日14時15時半。「笑って楽しく過ごす人生」と題し、落語家・三遊亭小金馬師匠が講演。定員は先着百人。参加無料。申込みは直接または電話(☎044-877-9030)で。同センターは田園都市線宮崎台駅より徒歩3分。

「多摩区社会教育研究会」地域

に根ざした市民館をめざして◆多摩市民館」3月21日(土)13時14時半。一年間の市民館・地域での学習を振り返り、情報交換や問題解決に向けて話し合う。第一分科会「子育てネットワーク」、第二分科会「高齢者井戸端会議」、第三分科会「生涯学習」。詳しくは☎044-900-3020の同館。同館は向ヶ丘遊園駅より徒歩5分。

「川崎のヒキガエル」青少年科学館」ヒキガエルの産卵状況、生息環境、採餌などを展示。4月29日まで。同館は☎044-922-4731、向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

「市民天体観望会」青少年科学館」大型望遠鏡で星を見る。3月7日と14日の18時半20時半。当日直接来館。雨・曇りの場合中止。小学生以下は保護者同伴。詳しくは☎044-922-4731の同館。同館は向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

スポーツ

44-0493)は小向電話局バス停より徒歩1分。

「婦人のバドミントンを楽しむつどい」幸スポーツセンター」3月22日9時15分。市教委、同センター主催。初心者、初・中・上級のグループ別ダブルス戦で各グループ上位入賞者に賞状授与。定員50組(個人参加も可)。対象は18歳以上(高校生を除く)の女性で健康に自信のある方。参加費500円。申込みは3月1日10時15分15時の間に直接来館。同センター(☎044-555-3011)は幸区役所前バス停より徒歩3分。

ステージ

「ペガサスファミリアコンサート」多摩市民館」3月15日(日)14時開演。人形が歌い踊るミュージカル『わたしのワンピース』と『ゆかいな音楽会』。歌と生のヴァイオリン、フルート、チェロ、ピアノ、マリリンバも。定員先着5百人。対象は2歳小学生で親子で楽しめる。入場無料。問い合わせは主催の☎044-945-1227、クオレムジカ。会場は向ヶ丘遊園駅より徒歩5分。

「空手道教室」石川記念武道館」4月18日7月18日の毎週土曜日18時15分19時15分。定員30人。対象は小学生以上。申込みは4月12日10時に直接来館。同館(☎044-5

4 医療機関が新たに協力

本誌の配布場所は117カ所

「Stage Up」の無料配布場所は3月号から、新たに四医療機関のご協力を頂き、計百七十七カ所になりました。今後も市民のみならずのご協力で配布場所を広げたいと願っています。

■小売店 さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽イトヨーカドー溝口店
 ■金融機関 川崎信用金庫本店と川崎市内の全支店(川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・向河原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支店・二子新地出張所・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店)▽横浜銀行川崎市内の全支店(川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店

・溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場支店・登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ランド駅前支店・百合丘支店・新百合ヶ丘支店・柿生支店)▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・新百合ヶ丘支店▽太陽神戸三井銀行溝口支店・柿生支店

■鉄道 JR川崎駅▽JR登戸駅▽東京急行日吉駅

■医療機関 市立井田病院▽市立川崎病院▽聖マリアンナ医科大学病院▽つつみ歯科新百合ヶ丘

■公共施設 教育文化会館▽情報コーナー▽幸市民館▽高津市民館▽中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分館▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高津図書館▽中原図書館▽宮前図書館▽多摩図書館▽麻生図書館▽市民ミ

ュージアム▽日本民家園▽青少年科学館▽市立体育館▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽麻生スポーツセンター▽青少年の家▽青少年創作センター▽青少年センター▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所▽福祉パルあさお▽労働会館▽エポックなからはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネッティ堤根▽ヨネッティ王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑化センター▽県立勤労女性会館▽神奈川第二中高年齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」

(この他、老人いきいの家に若干部数置いてあります)。

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。
 「いまを話す」のゲストの推薦や感想の他、「Stage Up」に関するご意見や提案をお待ちしています。編集チームへお願いします。

編集後記

昨年9、11月号の、「いまを話す」での高橋清・川崎市市長へのインタビューは大きな反響を呼びましたが、今号から同市長の随想、「思いつくまま」を連載します。ご期待下さい

い▼そのカットは田村あやさん(本名、田村文子)。フラワーアレンジメントや服飾の仕事のかたわら、イラストレーターとして活躍中で、紙面に潤いを与えるでしょう▼さて、好評の「いまを話す」4回目のゲストは彫刻家の圓錐勝三氏です。著名な方の中には気難しい人もおり、インタビューの清水さんも緊張気味でしたが、気さくに話しアトリ工にまで案内され感激の面持ちでした▼市民が企画した公開討論会「尊厳死を考える」は、高齢化社会における医療の在り方や死と向き合い合った時の心構えなどについて、多くの示唆に富んだ内容です。4号を割き特集しました▼今号も中身の濃い紙面になったと自負していますが「心の中の生涯の一冊」は休載します。ご了承下さい▼読者から本誌の「月刊」を要望する声が多く寄せられています。実現に向け検討中です▼また文字を「大きくして」との声にお応えして5月号から実施します。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
 電話(〇四四) 九五二一五〇〇〇 FAX(〇四四) 九五二一二五〇

編集人 田 中 園

しあわせと暮らしたい
STAY HAPPY



ホテル ザ・エルシイ川崎
 東横線・南武線「武蔵小杉」駅北口前
 TEL. 044(733)1111

ホテル ザ・エルシイ町田
 JR横浜線「町田」駅より徒歩1分
 小田急線「町田」駅より徒歩7分
 TEL. 0427(24)3111

エルシイ八王子
 京王線・JR「八王子」駅よりバス5分
 TEL. 0426(23)2111

ELICY

水道水が一番飲み慣れた水 だから 安全に健康的に…



料理やお茶、コーヒー、紅茶、炊飯など用途は多様

成器です

「ミネバランス」はアルカリオン水とアストリンゼン水を同時につくる健康と美容になくてはならない生成器です

弱酸性のアストリンゼン水は美容に優れた働きがあります
 酸性になりがちな体をアルカリオン水は弱アルカリ性にして健康体にします

健康を考えるなら

ミネバランス
整水器は常識です

全自動アルカリイオン電子整水器

ミネバランス

水を科学するヘルシーマシン

標準小売価格 148,000円
 (消費税・取付け工事費別)

AKAI 赤井電機株式会社

パンフレットを無料でお送りします

フリーダイヤル ◆月～土曜9～20時

0120-096-608

代理店
 (株)ヒューマンテックコーポレーション
 〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306
 TEL・FAX 044-954-4151